

標準委員会 第47回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録

1. 日 時：2020年7月31日（金）9:30～11:05

2. 会議方式：Web会議

3. 出席者（敬称略）

（出席委員）萩原部会長，石川副部会長，湊幹事，石川，北島，坂本，佐田，田中（健），張，野依，日比，藤井，増田，松本，山路，吉田（16名）

（代理委員）中田 耕太郎（東芝エネルギーシステムズ／田中（正）代理）（1名）

（欠席委員）宮坂（1名）

（委員候補者）山本 修（日本原子力発電）（1名）

（説明者） 【標準活動基本戦略タスク】鈴木委員（1名）

（事務局） 田老，牧野（2名）

4. 配付資料

ATC47-0-1 第47回基盤応用・廃炉技術専門部会議事次第（案）

ATC47-0-2 第47回基盤応用・廃炉技術専門部会の開催について（案）

ATC47-1 第46回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録（案）

ATC47-2-1 基盤応用・廃炉技術専門部会委員の再任承認に関するメール審議の結果について

ATC47-2-2 人事について

ATC47-3-1 標準の転載許諾対応に関するメール審議の依頼について

ATC47-3-2 標準の転載許諾対応に関するメール審議の結果について

ATC47-4-1 「標準作成ガイドライン」の改定提案

ATC47-4-2 JIS Z 83012019と 標準作成ガイドラインとの比較検討

ATC47-4-3 標準作成ガイドラインの新旧比較について

ATC47-5 分科会活動状況

参考資料

ATC47-参考1 基盤応用・廃炉技術専門部会委員名簿

ATC47-参考2 基盤応用・廃炉技術専門部会出席実績

5. 議事内容

（1）第47回基盤応用・廃炉技術専門部会の開催について（ATC47-0-2）

今回は，新型コロナウイルス感染症の影響によりWeb会議開催となったことから，事務局からATC47-0-2に基づき，開催に当たって専門部会運営細則を遵守して会議運営を行うために，注意事項も含め，会議の定足数，決議方法等Web会議の運営にかかる事項について説明があった。審議の結果，提案とおりに決議された。

（2）出席者確認

事務局から開始時点で委員18名中，15名の出席があり，委員会成立に必要な委員数（12名以上）を満足している旨，報告があった。（その後，報告・審議案件前に2名が参加し，17名の出席となった。）

(3) 前回議事録の確認 (ATC47-1)

前回議事録(案)について配付された内容で承認された。

(4) 人事について (ATC47-2-1, ATC47-2-2)

事務局からATC47-2-1に基づき、基盤応用・廃炉技術専門部会委員の再任承認に関するメール審議の結果、以下のとおり可決された旨の報告があった。

【専門部会】

1. 決議事項

(1) 委員再任

佐田 幸一	電力中央研究所	2020.08～2022.07
田中 健一	エネルギー総合工学研究所	2020.08～2022.07
増田 良一	東京電力ホールディングス	2020.09～2022.08

【分科会】

○放射線遮蔽分科会

1. 確認事項

(1) 委員退任

黒澤 直弘	ウイザブルインフォメーションセンター	2020.04.24
-------	--------------------	------------

○シミュレーションの信頼性分科会

1. 確認事項

(1) 常時参加者登録解除

大岡 靖典	原子燃料工業	2020.06.03
-------	--------	------------

(2) 常時参加者登録承認

兵頭 秀昭	原子燃料工業	
-------	--------	--

また、事務局からATC47-2-2に基づき、専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり、分科会の委員退任等が確認され、審議の結果、専門部会委員の選任等が決議された。

【専門部会】

1. 決議事項

(1) 委員選任

山本 修	日本原子力発電	
------	---------	--

(2) 委員再任

萩原 剛	東芝エネルギーシステムズ	2020.11～2022.10
日比 宏基	三菱FBRシステムズ	2020.11～2022.10
松本 昌昭	三菱総合研究所	2020.11～2022.10
吉田 啓之	日本原子力研究開発機構	2020.11～2022.10
坂本 幸夫	アトックス	2020.12～2022.11

2. 確認事項

(1) 委員退任

山本 祥司	日本原子力発電	2020.06.30
-------	---------	------------

(3) 報告・審議

1) 【報告】 (ATC47-3-1, ATC47-3-2)

“発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準：2017” 転載許諾対応の標準委員会メール審議結果について

(担当：事務局)

事務局からATC47-3-1, ATC47-3-2に基づき、題記標準の転載許諾に関する標準委員会メール審議結果、当該標準の発行について可決されたことまた、当該標準は5月12日に発行された旨の報告があった。

2) 【審議】 (ATC47-4-1, ATC47-4-2, ATC47-4-3)

標準作成ガイドラインの見直しについて

(担当 標準活動基本戦略タスク 鈴木委員)

標準活動基本戦略タスク 鈴木委員からATC47-4-1, ATC47-4-2, ATC47-4-3に基づき、題記標準ガイドラインの見直しについて説明があった。改定にあたりトップダウンだけではなく、分科会の意見も聞くべきとの強い意見が、用語辞典WGでの見直し検討の中であったことから、専門部会で説明して分科会の意見も聞くことにしたもの。

萩原部会長から、意見は本部会の三役に連絡することとなった。

主な質疑は以下。

Q: 現場の意見を聞くべきという強い要望は、具体的にはどんな内容か。

A: JISを詳しく知っている者から見ると、このガイドラインは歯がゆいところがあるとかの感じを抱く。これは、トップダウンで決まって、この決定に従っていることで、手直しするところが目につくということだと理解している。このため、広く意見を聞くことで改善され、周知にもつながると考えている。

Q: 廃止措置分科会はどのような状況か。

A: 廃止措置分科会は、改定、新規策定中で、JIS 2019年版に合わせるよう全面的に見直している途中である。したがって、このガイドラインに準拠する標準を、今後、専門部会、標準委員会で審議することになると思う。

C: 廃止措置分科会は、改定、新規策定中が多いので、JISだけでなく、ガイドラインも見て、意見があれば早めに出してほしい。

C: 「その他の見直し」にある①改訂版の適用の経過措置と②解説の新設について、確実に反映する。ただし、解説は標準委員会までに用意されたものを確認することになる予定。

3) 【報告】

分科会の活動状況について (ATC47-5)

各分科会の代表者からATC47-5に基づき、分科会の活動状況について報告があった。

(担当：放射線遮蔽分科会：坂本主査，廃止措置分科会：田中幹事，シミュレーションの信頼性分科会：中田主査，放出源の有効高さ評価分科会：藤井幹事)

“放射線遮蔽分科会”

- ・遮蔽コンクリートの組成標準の作成作業及び分科会・作業会の合同会合は新型コロナ感染症の影響で、中断・延期。原子力学会春の年会での発表は秋の大会に持ち越し、秋に予定していた遮蔽国際会議及び加速器遮蔽国際会議の開催は1年延期。第4回になる放射線遮蔽設計法に係るワークショップ（放射線工学部会主催，廃止措置分科会及び放射線遮蔽分科会共催）はWeb会議で8月7日に開催予定。

主な質疑は以下。

Q: γ 線ビルドアップ係数標準の英訳版の進捗状況はどうなっているか。（萩原部会長）

A: 内容の見直しを実施中。（坂本）

C: 新型コロナ感染症の影響を5ヶ年計画に反映すること。（萩原部会長）

“廃止措置分科会”

- ・廃止措置分科会は、2020年1月の分科会以降、分科会の開催を行っていない。リモートのTV会議で分科会を開催する準備を進めており、9月下旬を目途に開催する計画でいる。このため、現在実施中の策定作業については、今年度提出している5ヵ年計画から半年遅れとなる。

主な質疑は以下。

C: 廃止措置関連の標準制定の背景、経緯及び作業状況等について本部会三役に詳しい説明をしてほしい。

A: 拝承、説明の時期等の指示あれば対応する。

“シミュレーションの信頼性分科会”

- ・2020年1月にガイドラインの英訳版を発行、日本機械学会からの依頼により日本機械学会誌9月号の特集「V&V—シミュレーションの信頼性確保のために—」に原子力学会のシミュレーション信頼性ガイドラインの紹介及び不確かさ評価の適用事例を記事として執筆。

主な質疑は以下。

Q: ガイドラインの英訳版の販売実績はどうか？（萩原部会長）

A: 確認の上、後日回答する（7月末で実績は2部）。（学会事務局）

“放出源の有効高さ評価分科会”

- ・“発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準：2019”を5月12日に発行。
- ・当初、“発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準”の改定に向けた分科会を4月上旬に開催する予定だったが、コロナ禍により延期となり、8月4日開催予定。

6. 今後の予定

次回は、2020年11月13日（金）9時30分から予定。

以上